

令和6年（2024年） 川越市観光アンケート調査報告書

監修：川越市産業観光部観光課

作成：一般社団法人 DMO川越

目 次

I 観光アンケート調査の統計・分析

1. 調査の趣旨
2. 調査の概要
3. 総則
4. 調査の結果
 - (1) 出発地
 - (2) 性別
 - (3) 年齢
 - (4) 目的
 - (5) 認知方法
 - (6) 旅行形態
 - (7) 交通手段
 - (8) 来訪回数
 - (9) 滞在期間
 - (10) 観光時間
 - (11) 立ち寄り観光地点
 - (12) 観光消費額
 - (13) 観光客からの要望
 - (14) 満足度

II 資料編

1. 令和6年川越市入込観光客数（国内観光客）の概要
2. 令和6年川越市入込観光客数（外国人観光客）の概要

III 令和6年調査のまとめおよび分析

I 観光アンケート調査の統計・分析

1. 調査の趣旨

観光アンケート調査は、観光客の出発地、交通手段、立ち寄り観光地、観光消費額などの基本的な動態を把握することを目的としています。

2. 調査の概要

(1) 調査期間：

調査期間は令和6年（2024年）1月から12月までの一年間。

なお、期間を4回に分けて収集しています(①1～5月分、②6～8月分、③9～11月分、④12月分)。

(2) 調査方法：

(株)Agoopの位置情報アンケートサービス利用者に対して、インターネット経由で設問を聞取り。

(3) 調査対象(有効回答)：

(株)Agoop位置情報アンケートサービスの利用者の中で、調査期間中に川越市に来訪したと回答した3,688件のうち、観光目的で来訪したと回答した2,251件。

3. 総則

○ 省略表現について

「R6」は令和6年を、「R5」は令和5年を指します。

○ グラフ中の割合表記について

割合は小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、合計が100%にならない場合があります。

○ 回答数について

各項目の回答数は原則1人あたり1件ですが、(4)目的・(5)認知方法・(11)立ち寄り観光地・(13)要望については複数回答可としています。

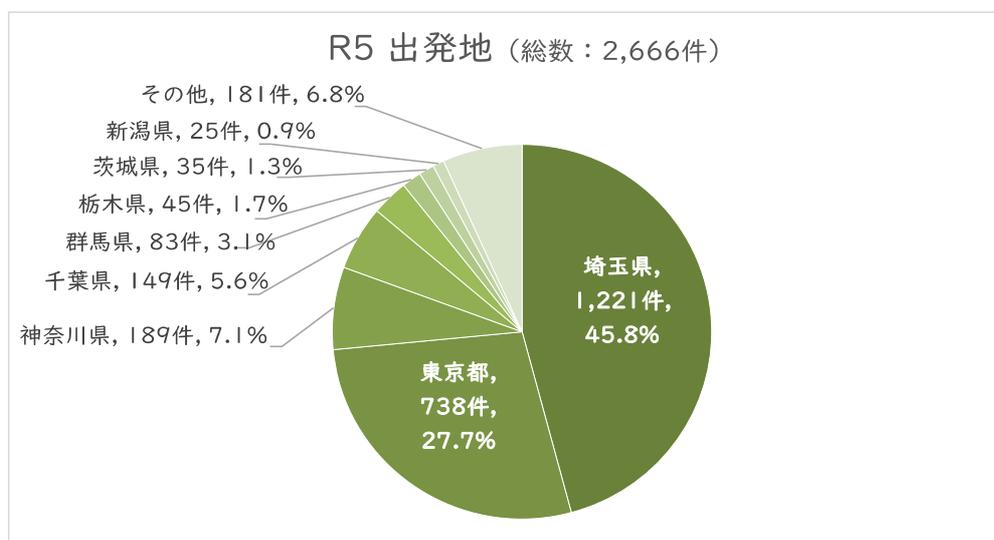
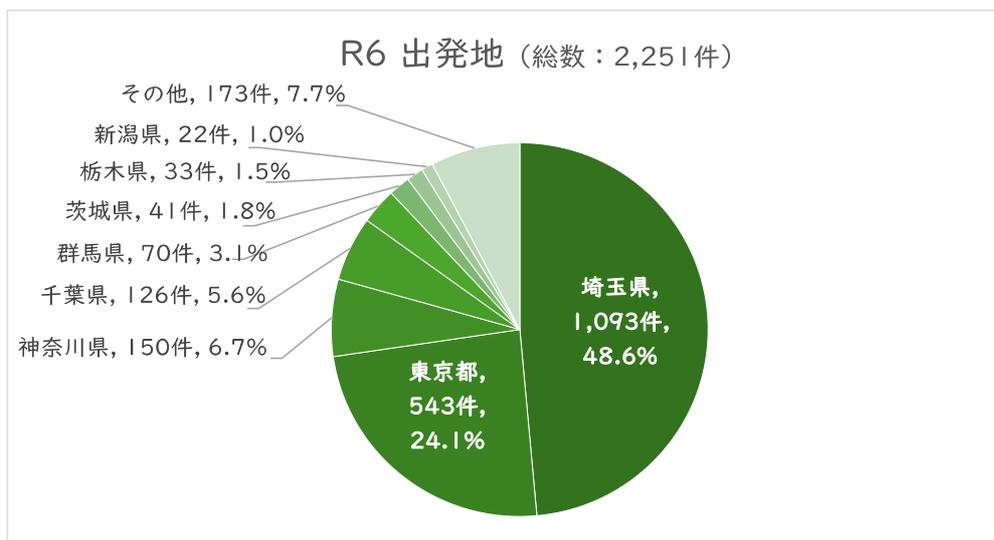
○ アンケート項目の見直しについて

令和6年アンケートはよりの確に実態を捉えられるよう一部見直しをおこなっています。

4. 調査の結果

(1) 出発地

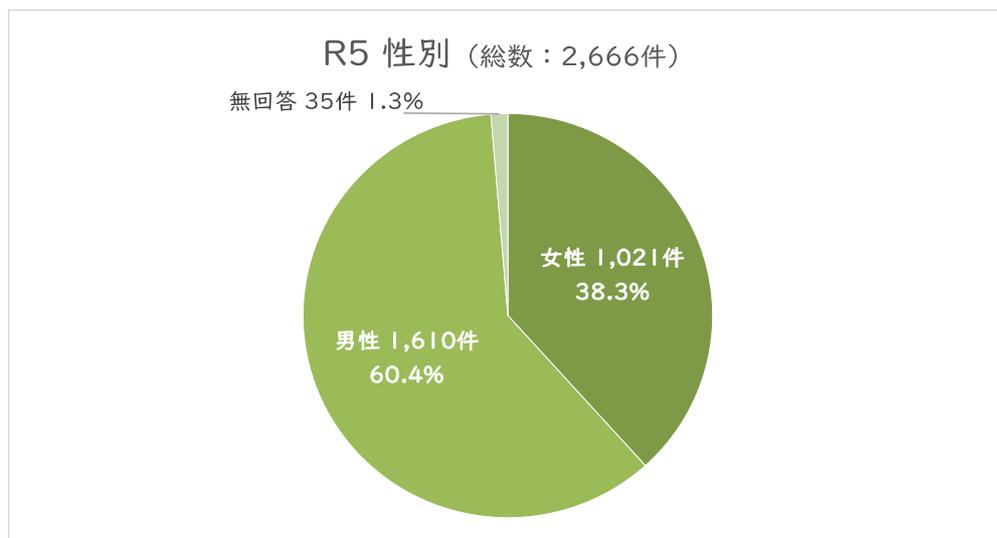
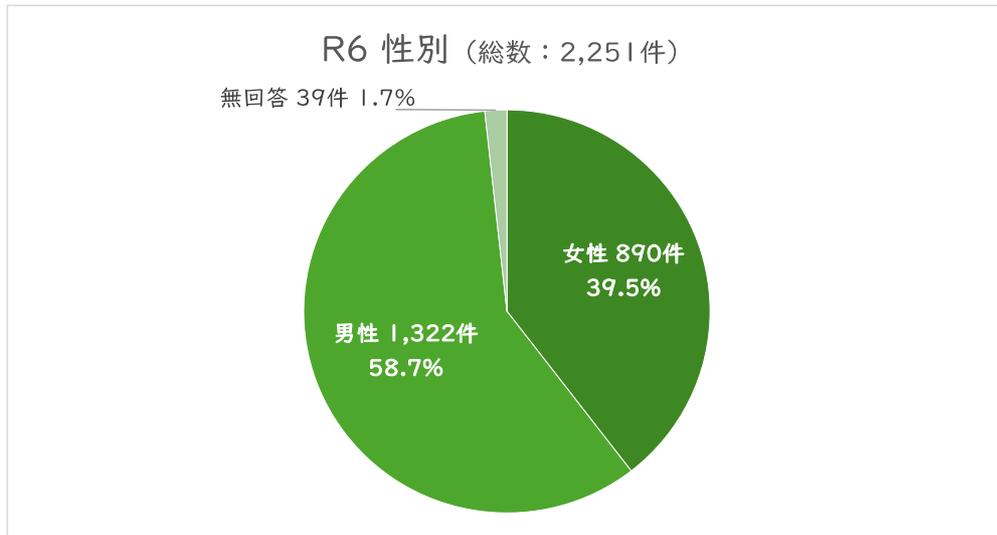
令和5年に比べて埼玉県内からの来訪者が占める割合が2.8ポイント増加しました。



※ 本項目は令和4年までGPSデータを活用していましたが、データの整合性を考慮して令和5年からは当Webアンケートに出発地の設問を設け集計しています。

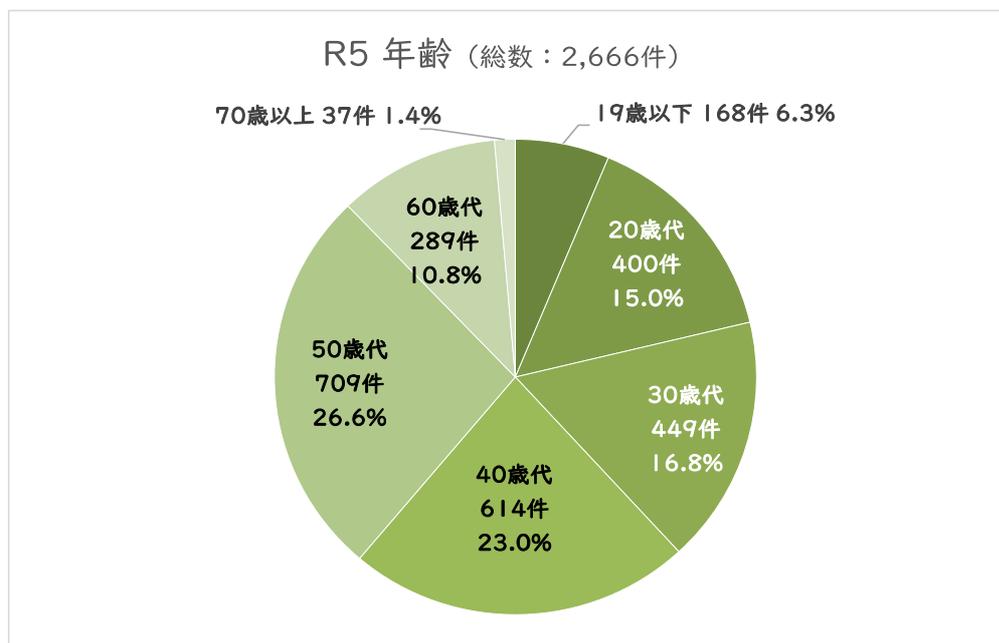
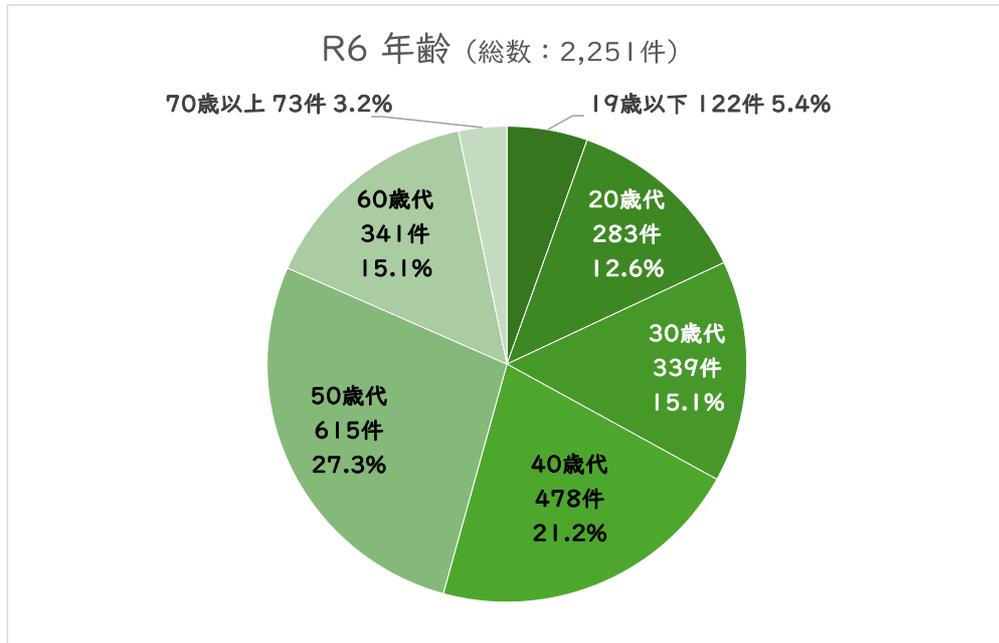
(2) 性別

令和6年の回答者の性別は、女性が39.5%、男性が58.7%となっています。



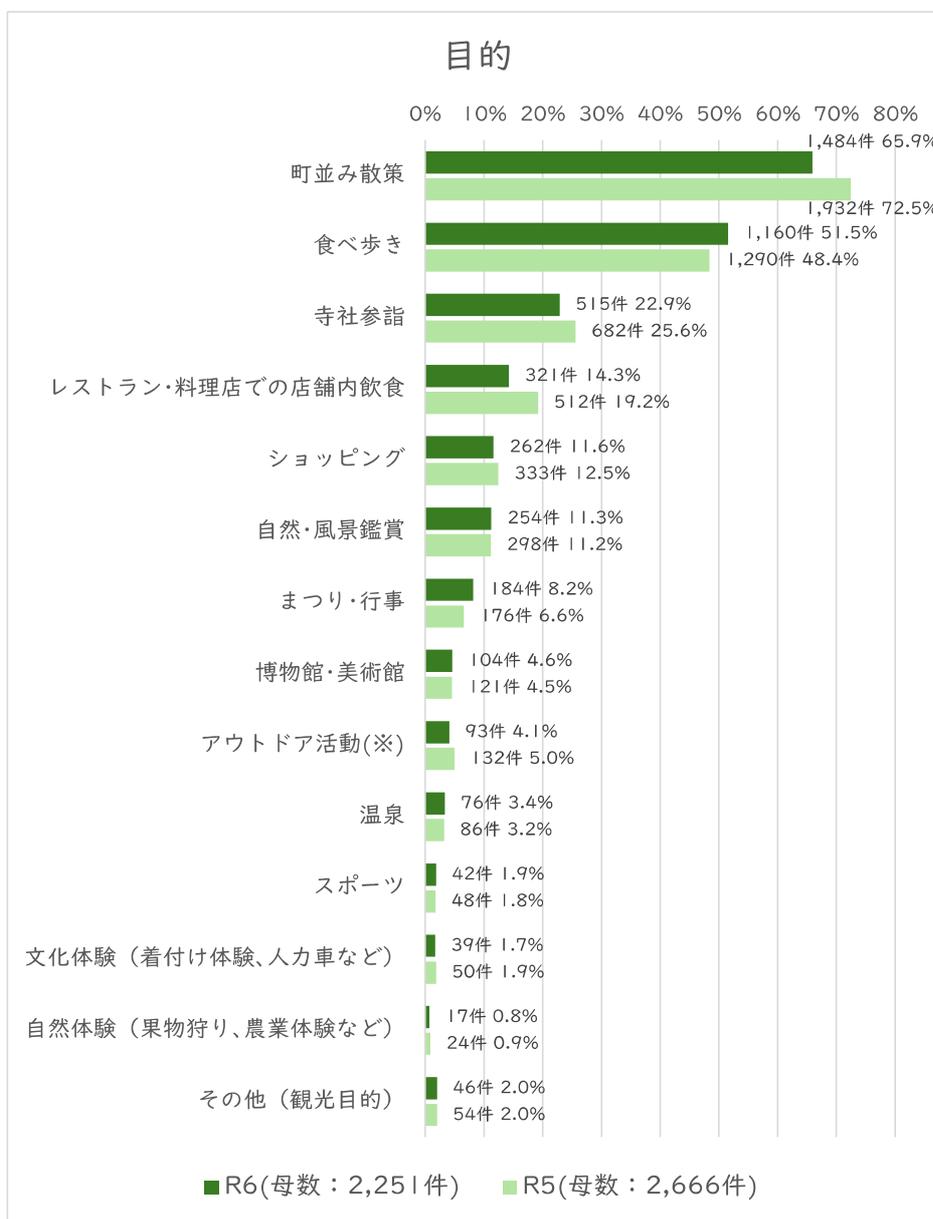
(3) 年齢

令和6年の回答者の年代は、50歳代以上の割合が約7ポイント増加しています。



(4) 目的（複数回答可）

「町並み散策」が最も多く、回答母数の65.9%が回答していますが、令和5年と比較し6.6ポイント減少しています。
次に多いのは「食べ歩き」で51.5%。令和5年と比較し3.1ポイント増加しています。



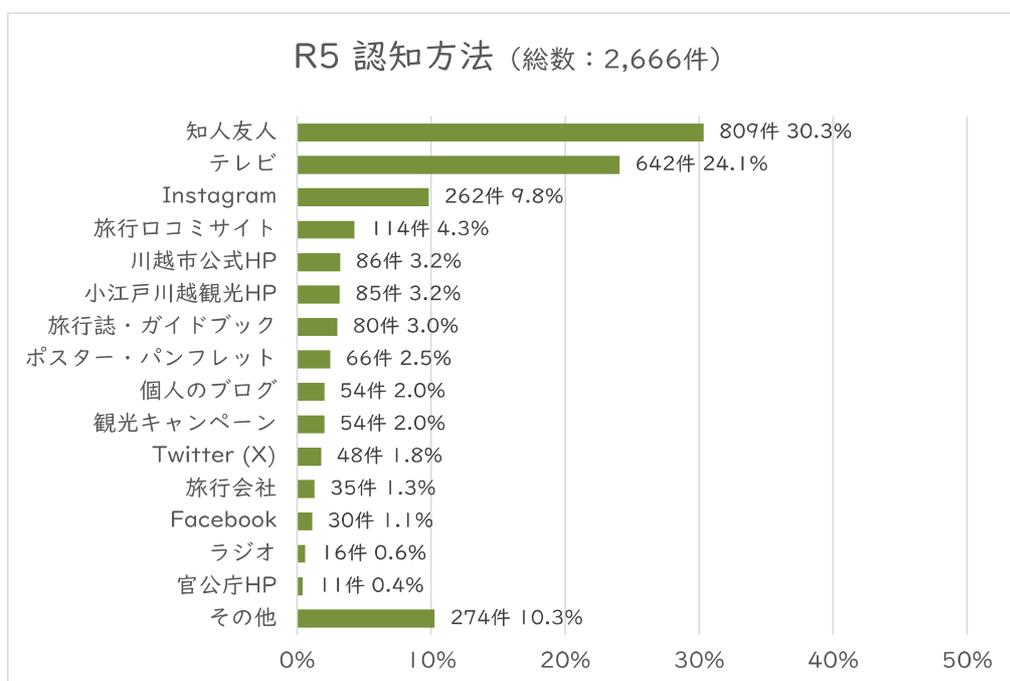
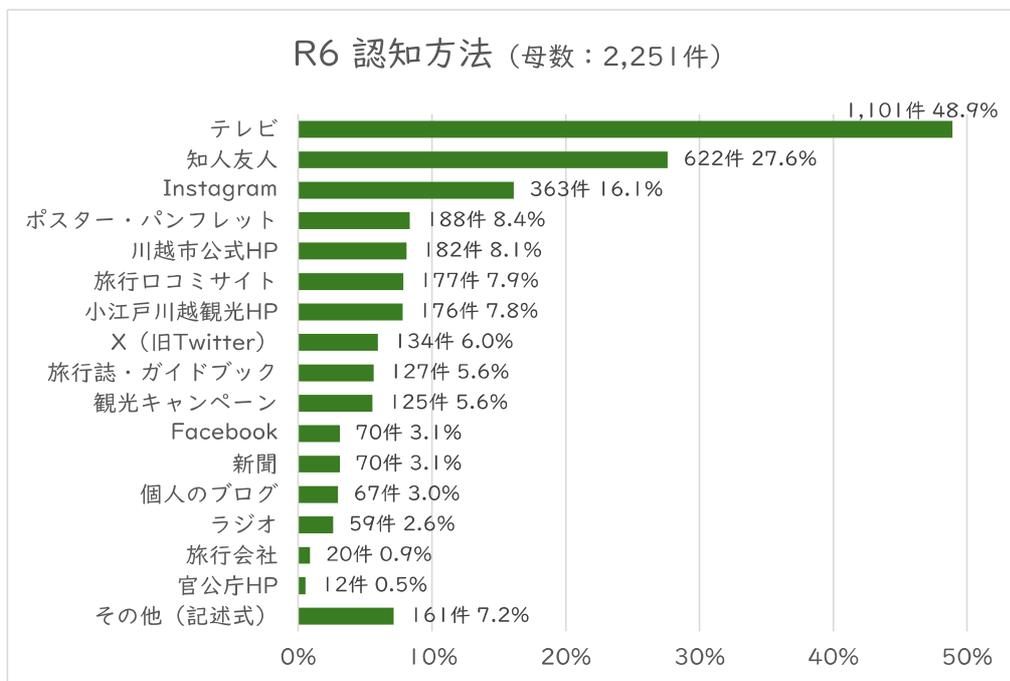
※ 「アウトドア活動」は質問時には「アウトドア活動（キャンプ、BBQ、サイクリング、ウォーキングなど）」という設問になっています。

※ 令和5年からより細かなニーズを把握できるように目的の区分を細分化しています。

(5) 認知方法（R6年から複数回答可）

令和6年は「テレビ」による認知が最も多く、回答母数の48.9%が回答しています。次いで「知人友人」からの認知が27.6%となっています。

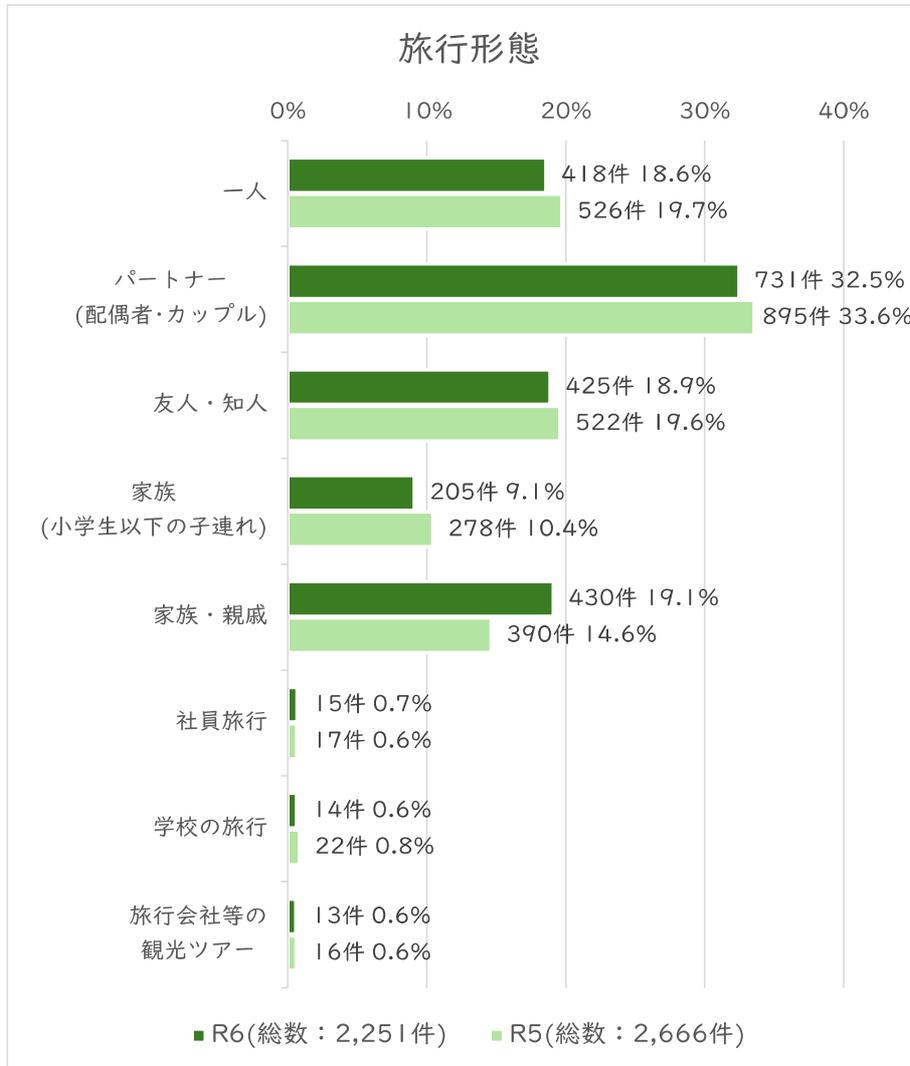
SNS（Facebook、Instagram、X(旧Twitter)）のなかではInstagramが最も多く、16.1%となっています。



※ 令和5年は単一回答で、令和6年から複数回答可に変更しています。

(6) 旅行形態

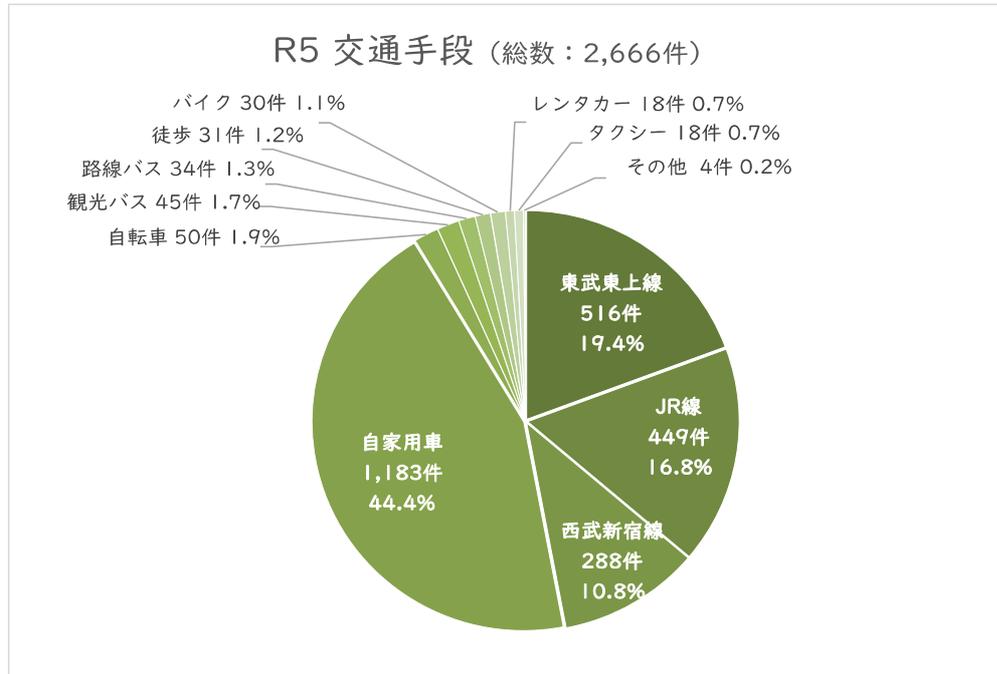
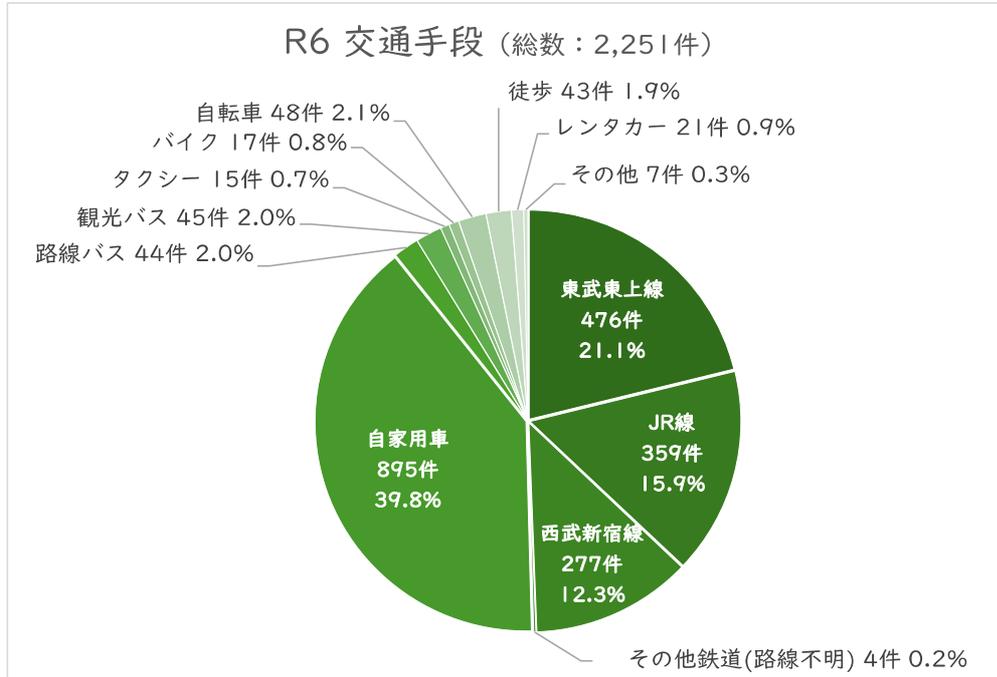
令和6年、最も多かった旅行形態は「パートナー(配偶者・カップル)」が32.5%でした。令和5年と比較し、「家族・親族」が4.5ポイント増加しました。



(7) 交通手段

鉄道利用者が全体の約50%を占めています。

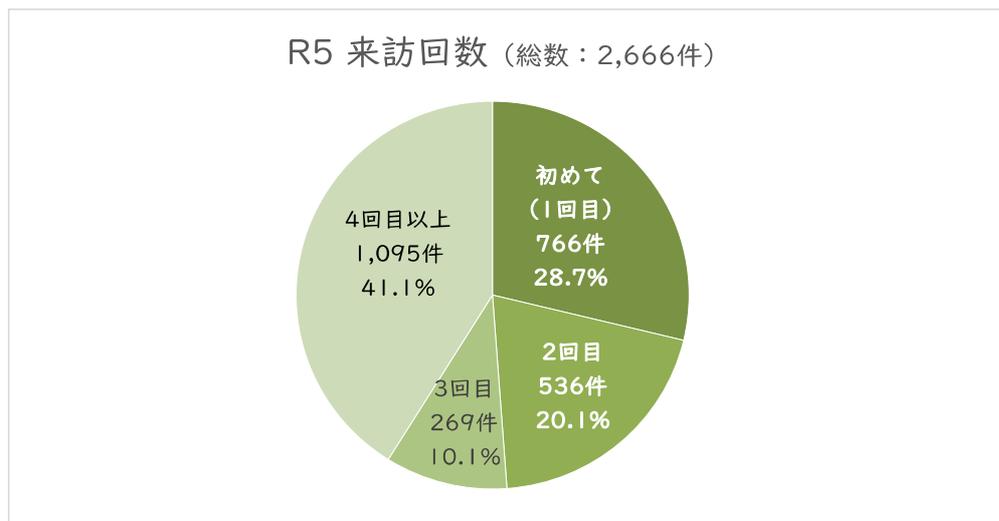
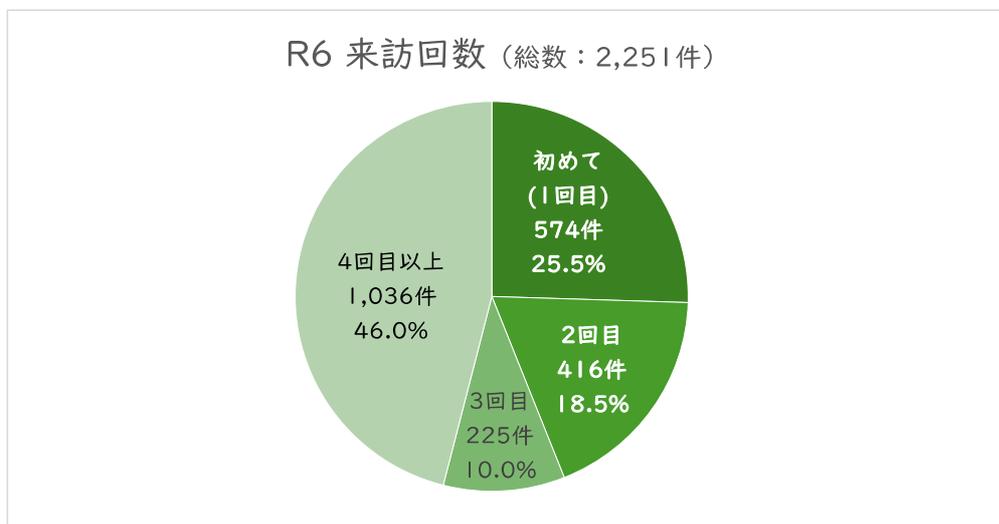
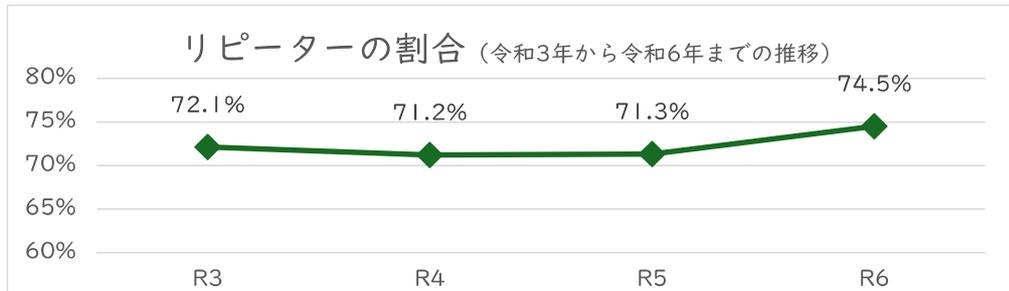
自家用車は令和5年と比較すると、4.6ポイント減少し39.8%となりました。



(8) 来訪回数

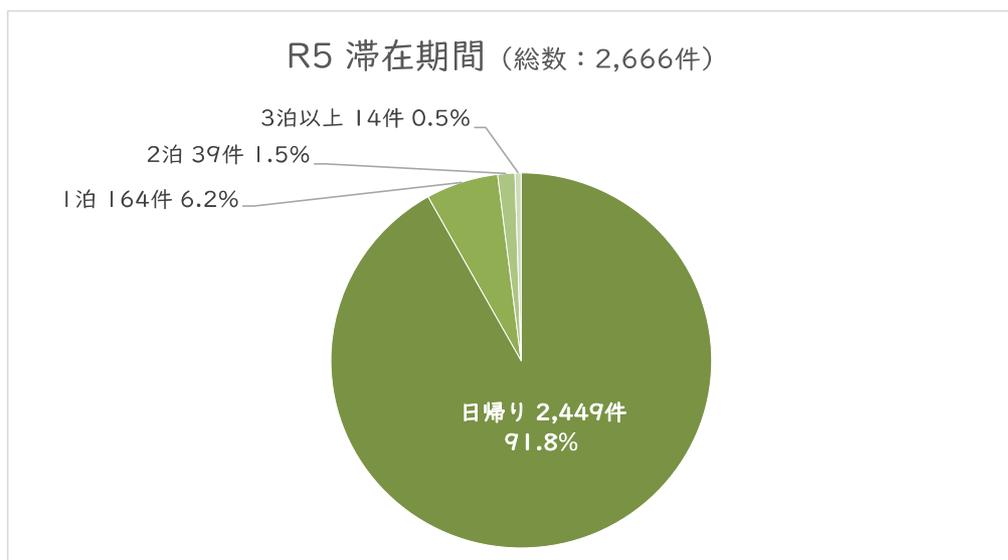
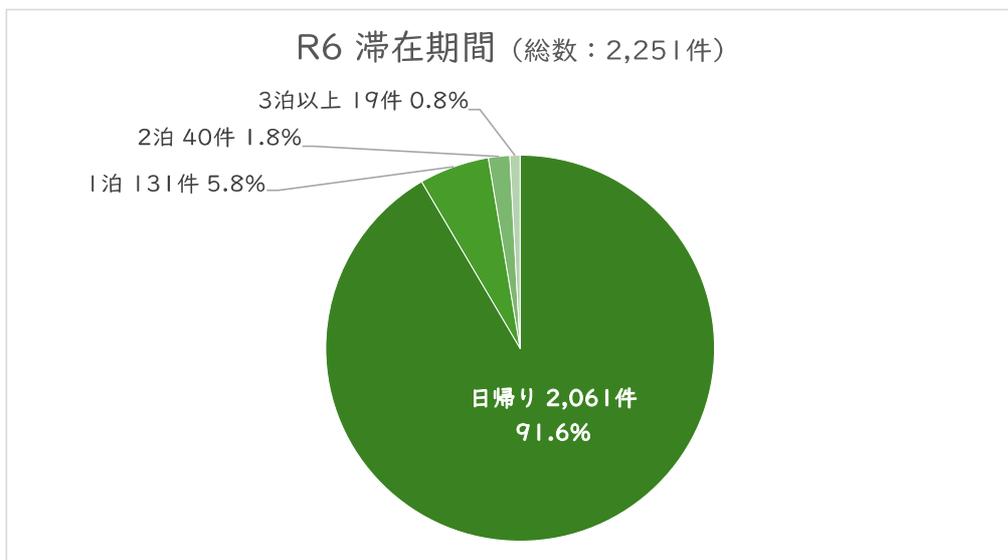
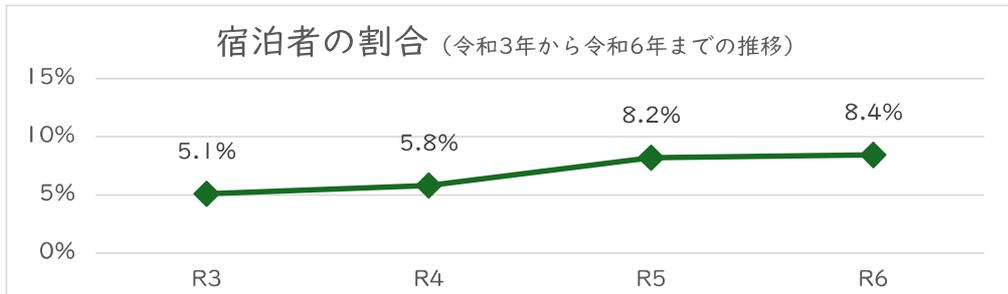
令和5年と同様に、来訪回数「4回以上」が最も多くなりました。

リピーター（来訪回数2回以上）の割合は、令和5年と比較し3.2ポイント増加し74.5%となっています。



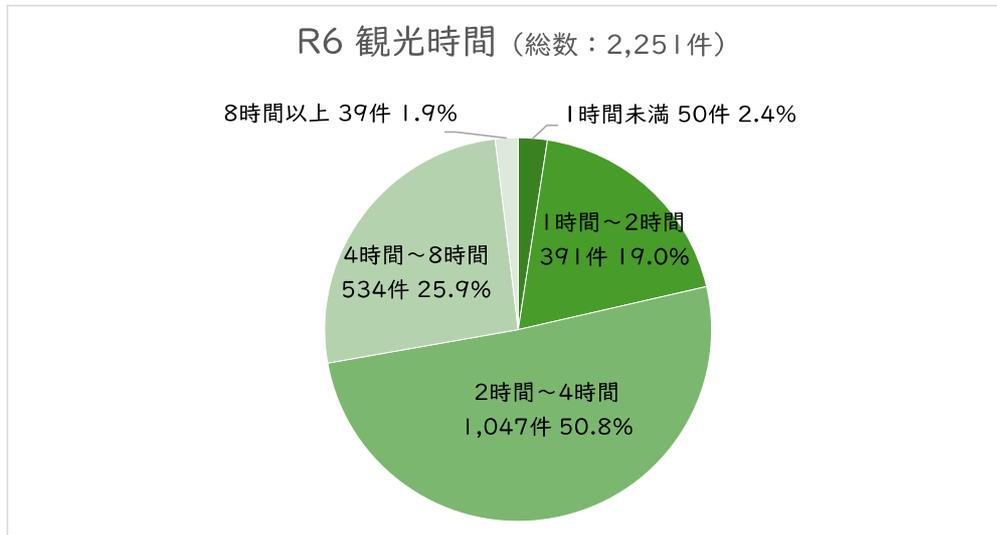
(9) 滞在期間

宿泊者の割合は令和5年と比較し、0.2ポイントの微増となっています。

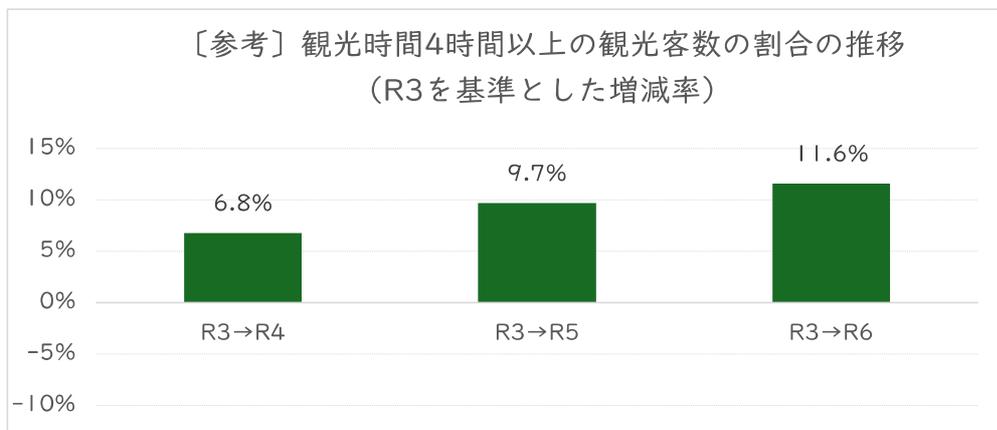


(10) 観光時間

観光時間帯別にみると、「2～4時間」が半数の50.8%、4時間以上が27.8%になっています。



※ 本項目は令和5年までGPSデータを活用していましたが、クロス分析等に用いるため令和6年からはアンケートに観光時間の設問を設け集計しています。

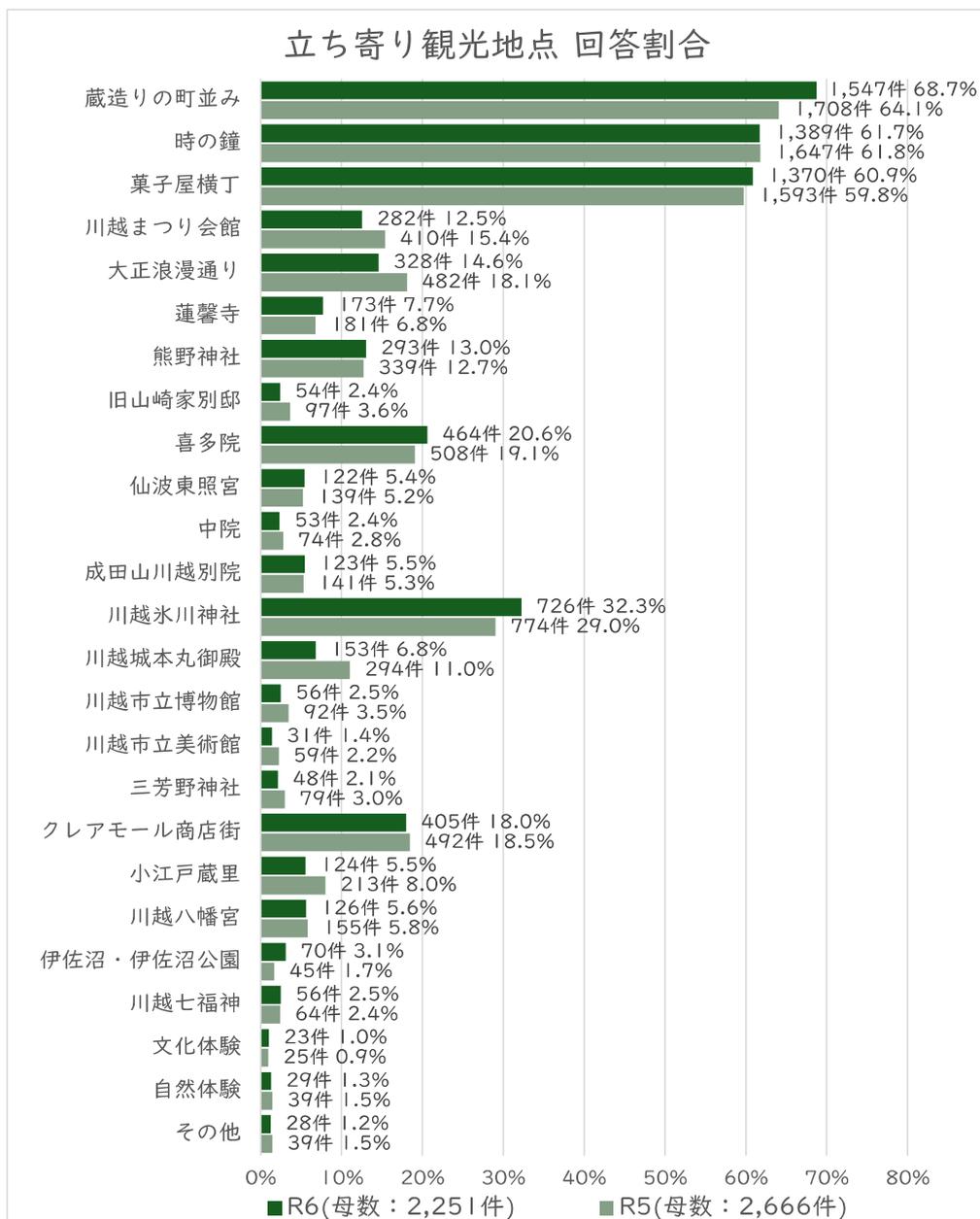
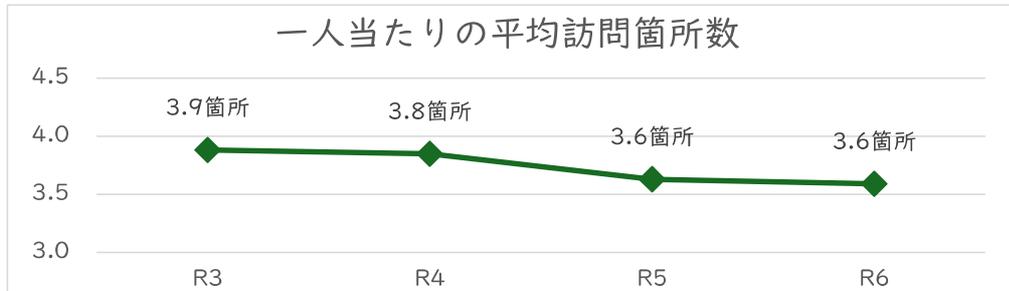


※ 上グラフはR3～R6年のGPSデータから4時間以上滞在した観光客数を算出し、令和3年を基準に増減率で表示したものです。なお、GPSデータは主要4エリア(一番街周辺・氷川神社周辺・喜多院周辺・伊佐沼周辺)に4時間以上滞在した観光客(市内居住者・通勤者を除く)を集計しています。

(11) 立ち寄り観光地点（複数回答可）

一番街周辺エリアの「蔵造りの町並み」「時の鐘」「菓子屋横丁」が高い回答割合になっています。令和5年と比較し、「蔵造りの町並み」が4.6ポイント、「川越氷川神社」が3.3ポイント増加しています。

一人当たりの平均訪問箇所数は減少が続いています。



(12)-1 観光消費額：一人当たりの観光消費額（項目別）

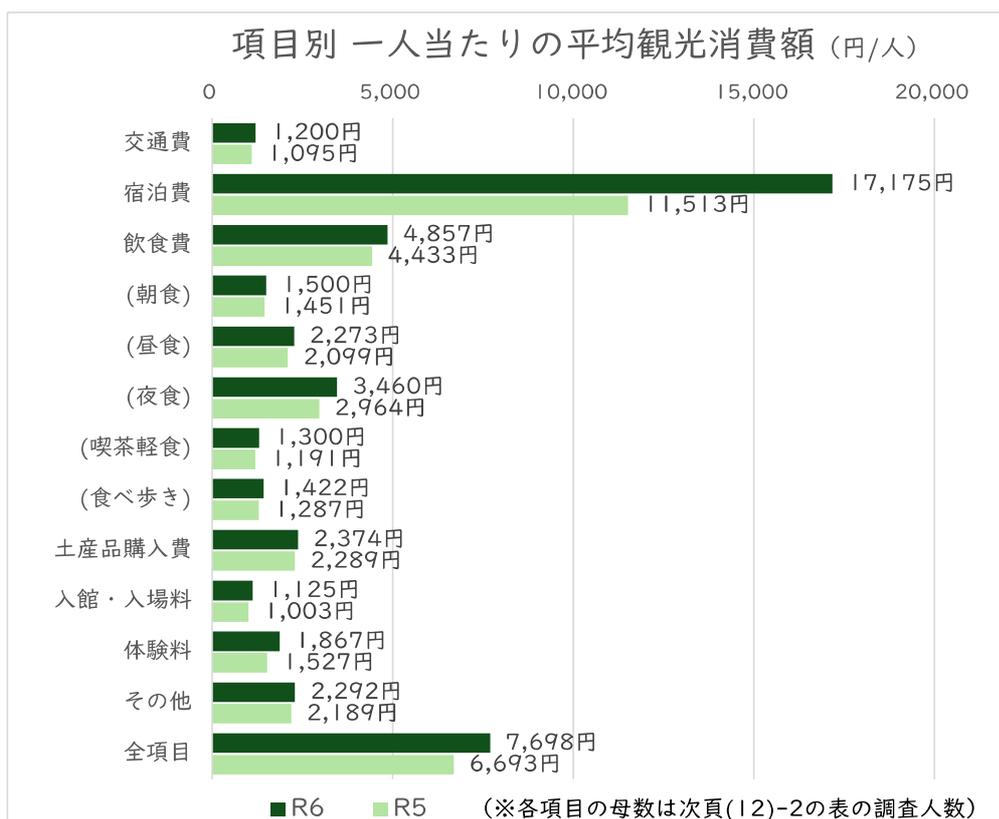
令和5年と比較し、一人当たりの平均費用が日帰り客では約500円、全体では約1,000円の増額になっています。

宿泊客でみると、宿泊費で約5,700円、全体で約20,000円の増額になっています。

項目	令和6年 平均費用（円/人）			令和5年 平均費用（円/人）		
	日帰り客	宿泊客	全体	日帰り客	宿泊客	全体
交通費	1,114	2,109	1,200	1,056	1,615	1,095
宿泊費	-	17,175	17,175	-	11,513	11,513
飲食費	4,553	9,422	4,857	4,230	7,303	4,433
朝食	1,505	1,488	1,500	1,470	1,443	1,451
昼食	2,259	2,509	2,273	2,089	2,230	2,099
夜食	3,248	4,460	3,460	2,847	3,547	2,964
喫茶軽食	1,271	1,712	1,300	1,185	1,326	1,191
食べ歩き	1,388	1,919	1,422	1,274	1,414	1,287
土産品購入費	2,280	3,688	2,374	2,220	2,895	2,289
入館・入場料	1,045	1,612	1,125	986	1,180	1,003
体験料	1,892	1,895	1,867	1,486	1,825	1,527
その他	1,867	5,603	2,292	1,850	5,145	2,189
全項目	6,614	39,641	7,698	6,107	19,596	6,693

※ 異常値*1を除外し、外れ値を除くため回答額の上位5%と下位5%(計10%)の回答を除いた中間項の平均値で算出しています。

(*1：異常値：宿泊費で100万円を超えるもの、「その他」の項目以外で10円未満の金額を入れているもの、数字の各位に同じ数字を連続して入力しているもの(例=11,111円)と定義。)



(12)-2 観光消費額：支出した人の割合（項目別）

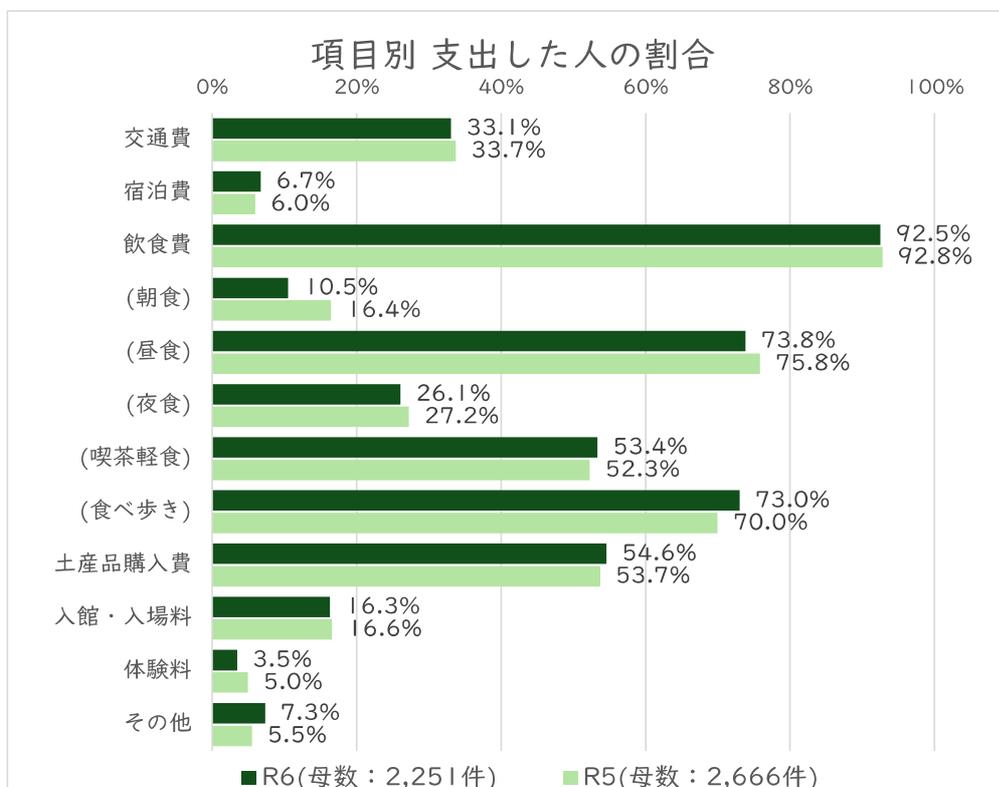
支出した人の割合が92.5%と最も多い飲食費のうち、昼食が73.8%、次いで食べ歩きが73.0%となっています。令和5年と比較すると、食べ歩きが3.0ポイント増加しています。

土産品は54.6%の人が購入しています。

項目	令和6年 支出した人の割合*1		令和5年 支出した人の割合*2	
	調査人数(人)	割合	調査人数(人)	割合
交通費	744	33.1%	899	33.7%
宿泊費	151	6.7%	159	6.0%
飲食費	2,083	92.5%	2,474	92.8%
朝食	237	10.5%	438	16.4%
昼食	1,662	73.8%	2,022	75.8%
夜食	587	26.1%	726	27.2%
喫茶軽食	1,201	53.4%	1,394	52.3%
食べ歩き	1,644	73.0%	1,866	70.0%
土産品購入費	1,229	54.6%	1,432	53.7%
入館・入場料	367	16.3%	442	16.6%
体験料	78	3.5%	132	5.0%
その他	165	7.3%	147	5.5%

*1 = 全有効回答数2,251件に対する割合

*2 = 全有効回答数2,666件に対する割合

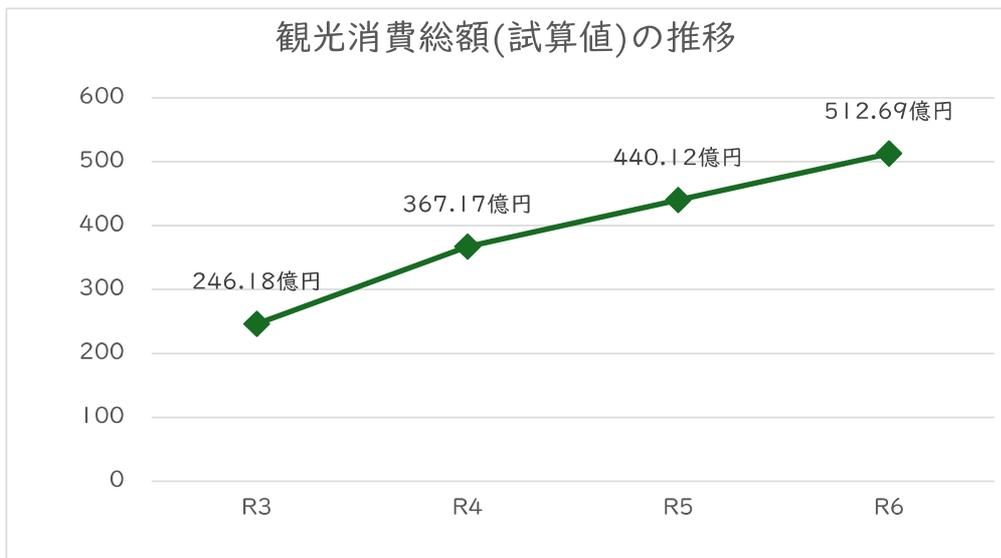
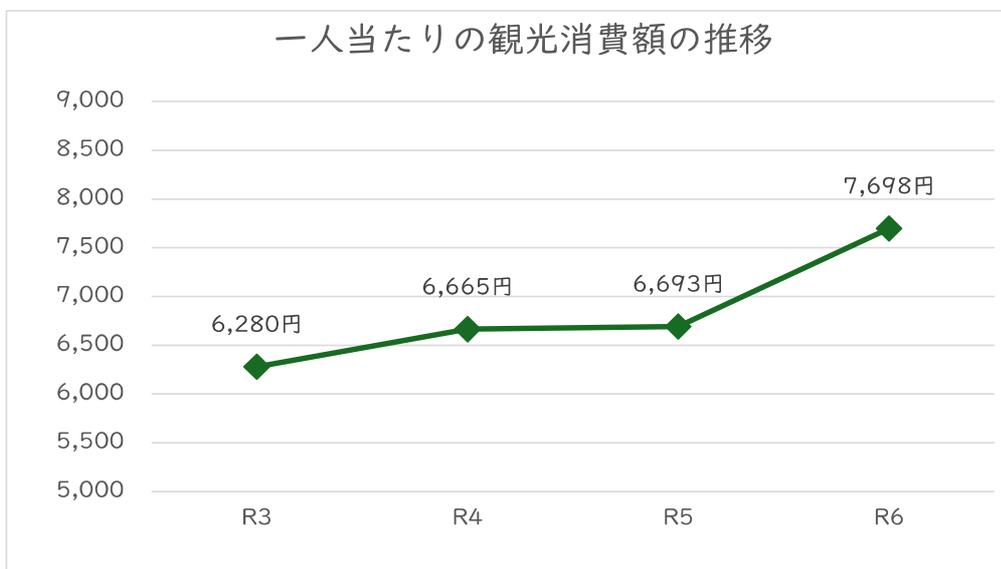


(12)-3 観光消費額：経済効果試算

令和6年の観光消費総額は、

512.61億円（平均消費額 7,698円 × 入込観光客数 6,659,000人）。

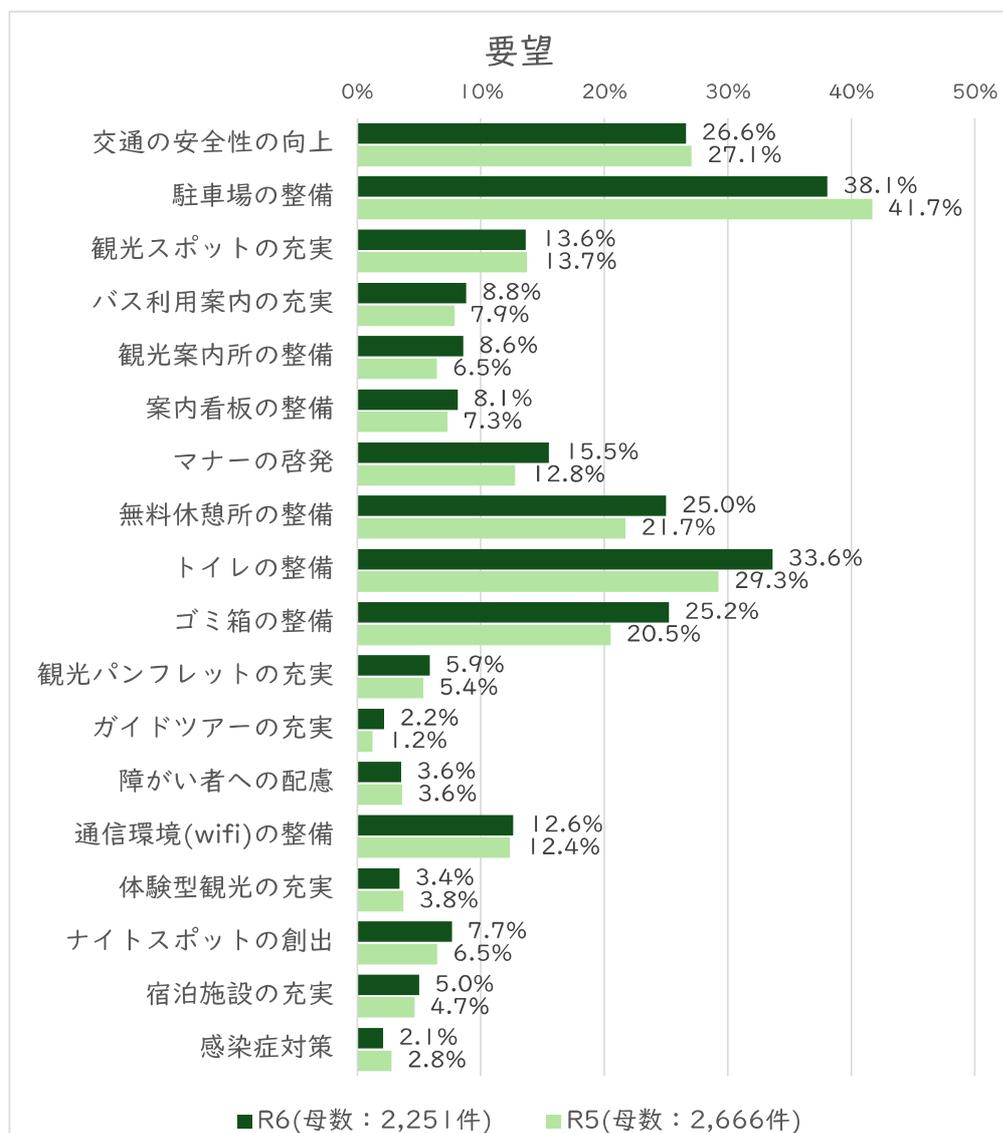
令和5年の440.12億円から72.49億円増加となり、前年比117%となりました。



(13) 観光客からの要望 (複数回答可)

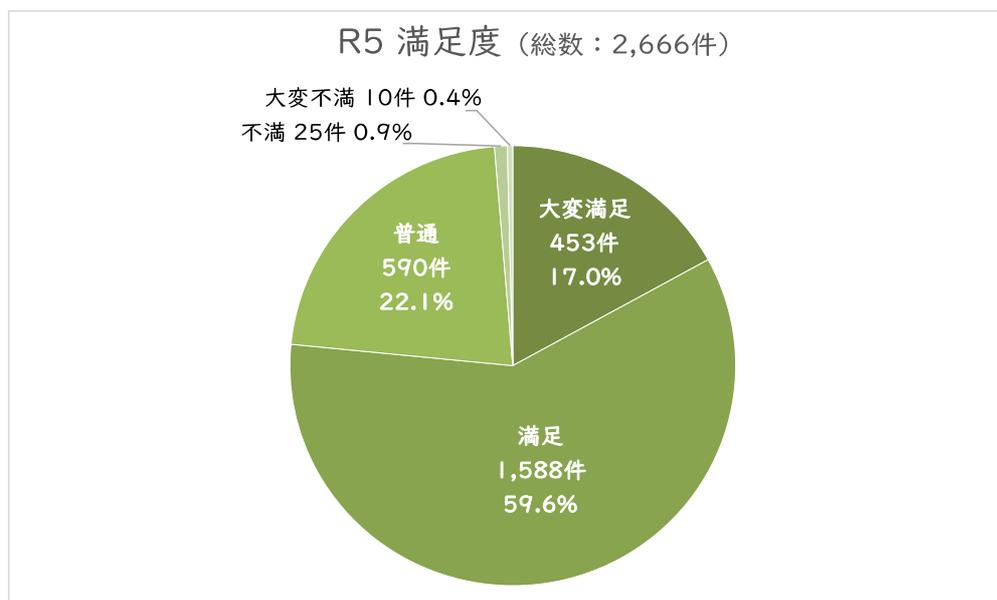
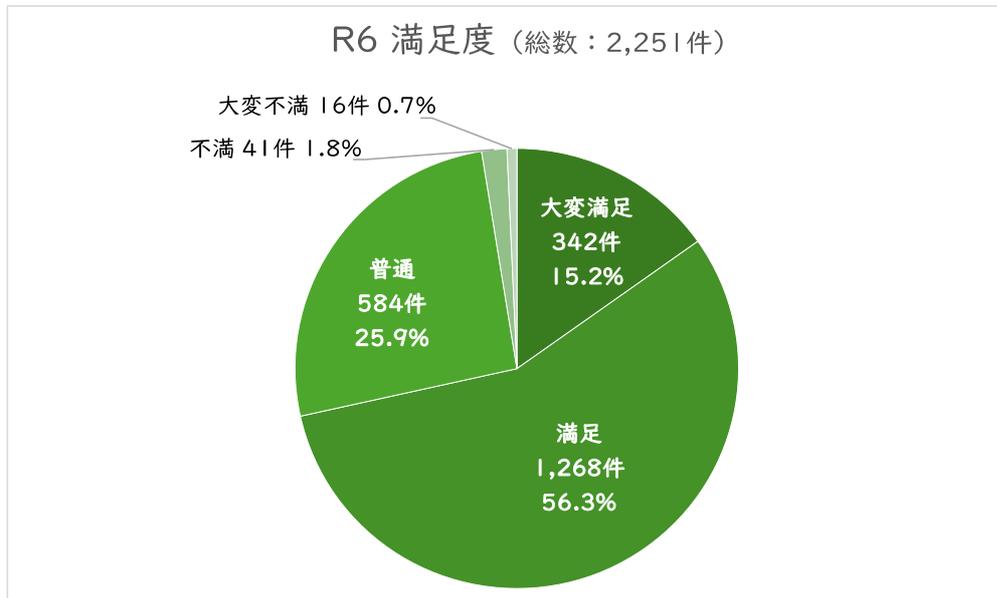
川越観光への改善点・要望については、上位から順に「駐車場の整備(38.1%)」「トイレの整備(33.6%)」「交通の安全性の向上(26.6%)」「ゴミ箱の整備(25.2%)」「無料休憩所の整備(25.0%)」。

令和5年と比較し、「駐車場の整備」は3.6ポイントの減少。「ゴミ箱の整備」は4.7ポイント、「トイレの整備」は4.3ポイント増加しています。



(14) 満足度

「大変満足」と「満足」の合計が71.5%と、令和5年の76.6%から5.1ポイント減少しました。

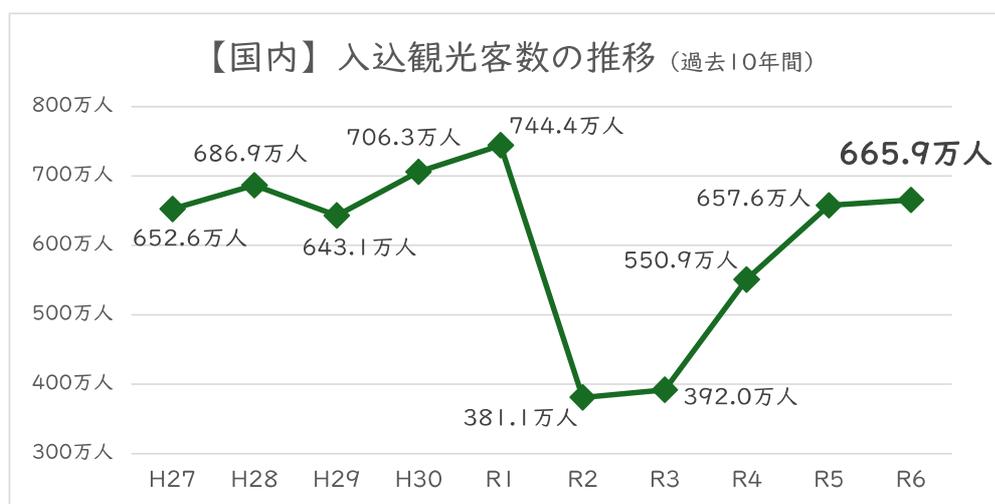


II 資料編

1. 令和6年川越市入込観光客数（国内観光客）の概要

国内入込観光客数 665万9千人

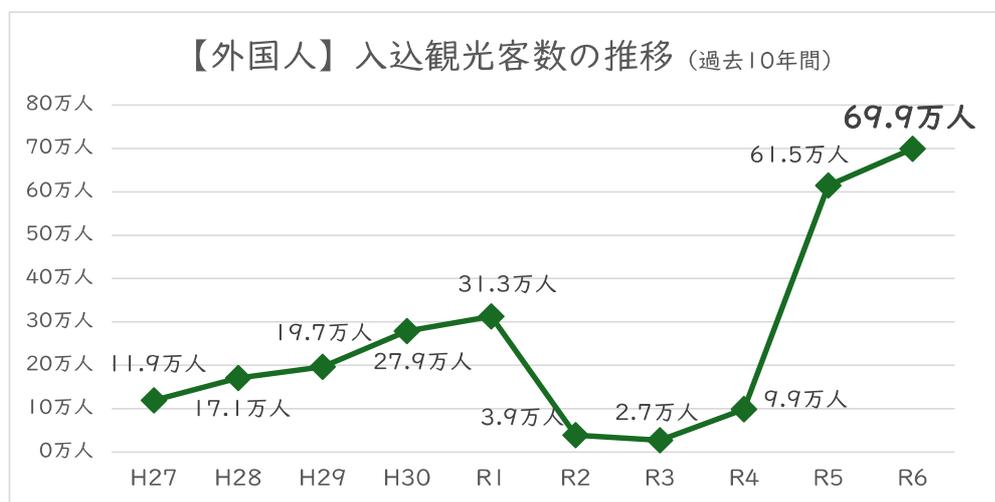
令和6年の国内旅行者の入込観光客数は665万9千人となり、令和5年に比べて101.3%と微増となりました。
コロナ前である令和元年（2019年）の入込観光客数744万4千人に比べると89.5%となっています。



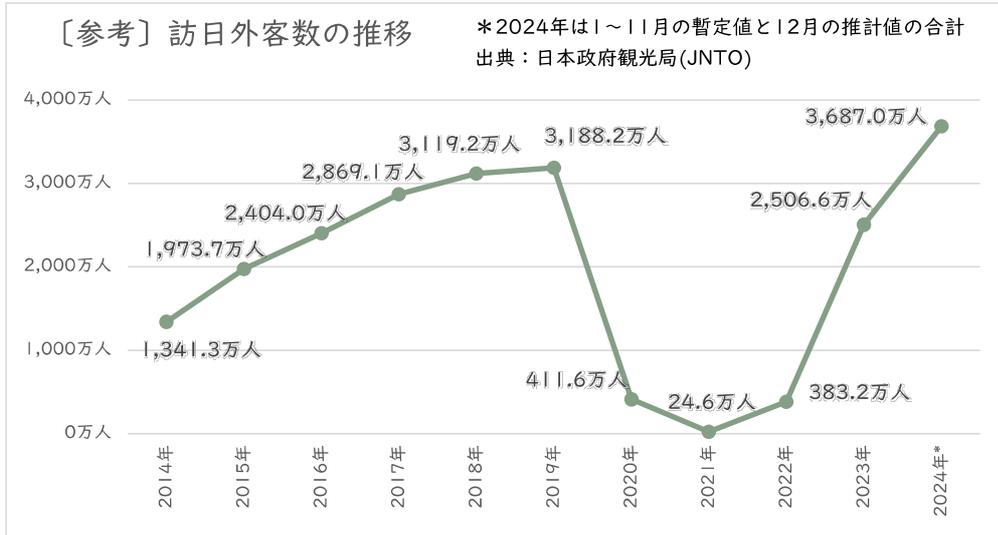
2. 令和6年川越市入込観光客数（外国人観光客）の概要

外国人入込観光客数 69万9千人

外国人観光客数は令和5年比113.7%と増加になりました。



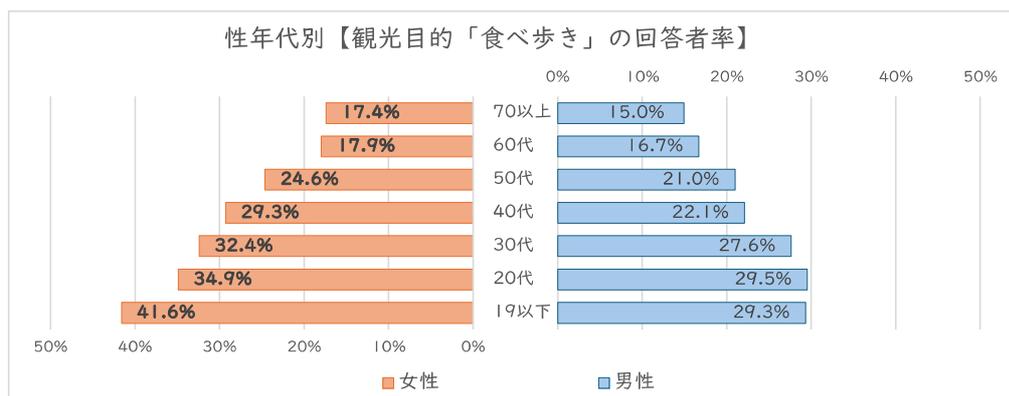
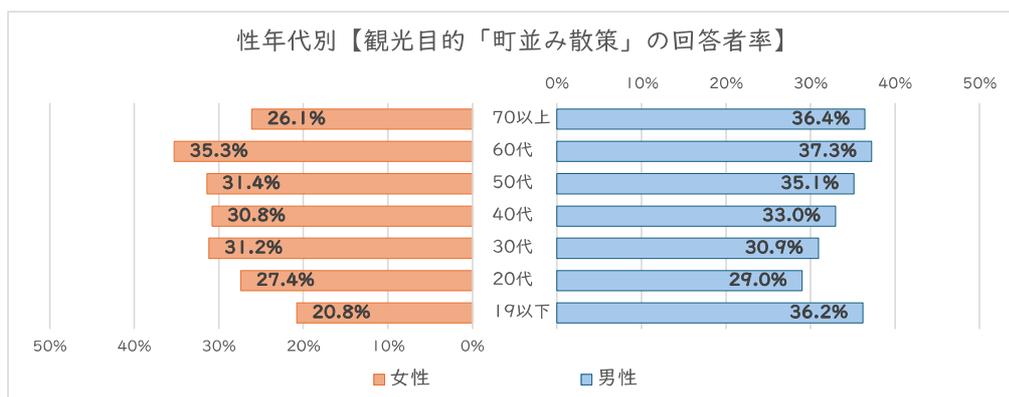
なお、日本全国の外国人観光客数について、日本政府観光局(JNTO)が公表している訪日外客数によると、2024年はコロナ禍前(2019年)の約3,200万人から約3,700万人に増加し、過去最高の人数になっています。



Ⅲ 令和6年調査のまとめおよび分析

(1) 観光目的について

性別・年代の回答者において、観光目的で多くの回答があった「町並み散策」と「食べ歩き」について抽出し、性年代別に回答率を調べると、「町並み散策」では、女性の60歳代、男性の50歳以上・19歳以下が35%を超えており、男性の回答が高い傾向があります。「食べ歩き」については、女性の30歳代以下が30%を超えており、特に女性の19歳以下が40%を超えています。



※各性年代の母数は下表の緑色の網掛けの数値になります。以降、性年代別の集計について同様。

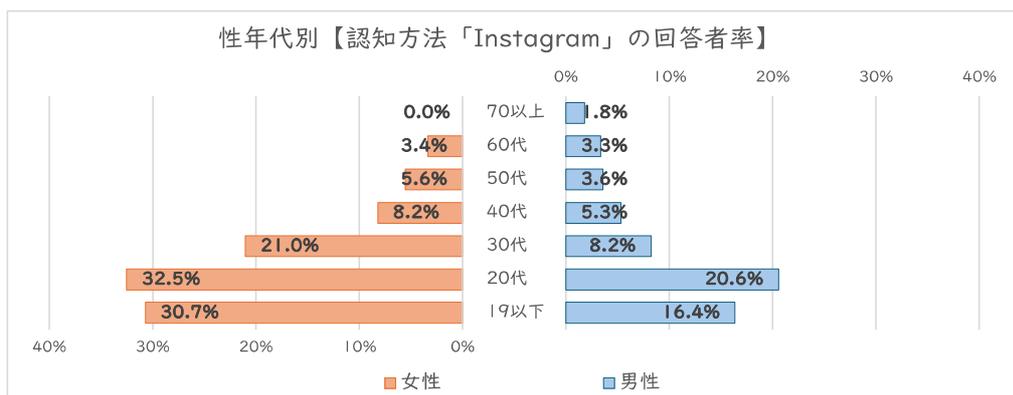
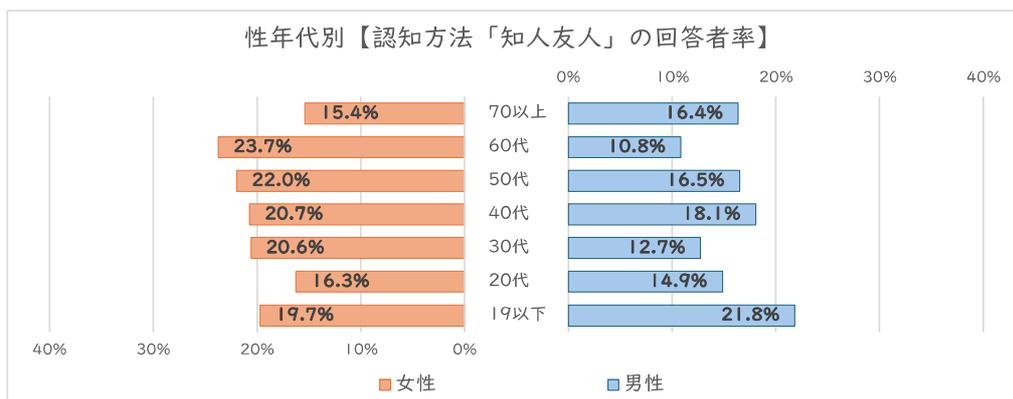
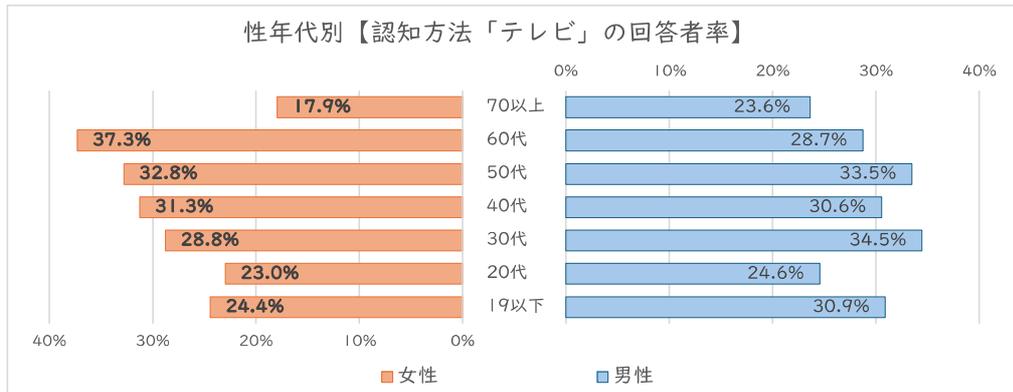
	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
女性	85	172	157	182	200	74	20	890
男性	34	101	176	289	405	267	50	1,322
無回答	3	10	6	7	10		3	39
計	122	283	339	478	615	341	73	2,251

(2) 認知方法について

性別・年代の回答者において、認知方法で多くの回答があった「テレビ」「知人友人」およびSNSの「Instagram」について抽出し、性年代別に調べると、「テレビ」については女性では60歳代が37.3%と最も高く、男性では30歳代が34.5%と高くなっています。

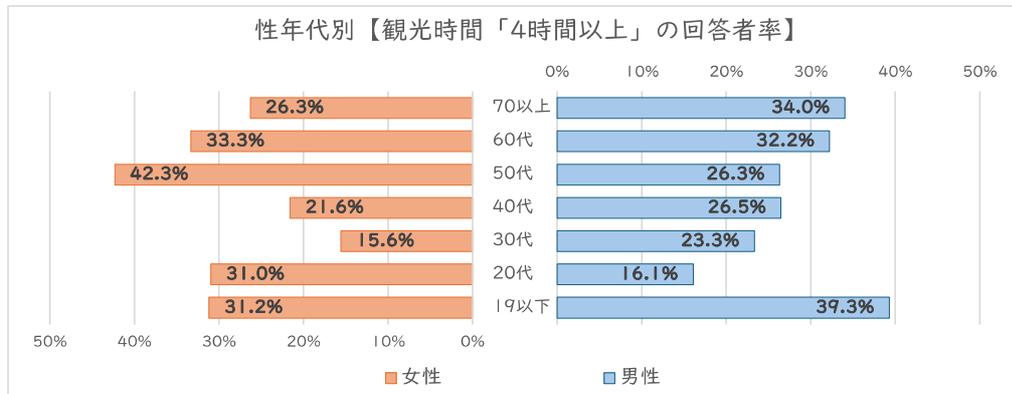
「知人友人」から認知した回答者は、全般的に男性よりも女性のほうが高い割合になっています。

「Instagram」については、女性の20歳代以下が30%を超えています。



(3) 観光時間について

性別・年代の回答者において観光時間について「4時間未満」と「4時間以上」の二区分で性年代別に調べると、4時間以上と回答した人の割合は女性の50歳代が42.3%と最も高く、次いで男性の19歳以下が39.3%と高くなっています。



(4) 観光消費額について

訪問回数を「初回」と「二回目以降」の二区分で、滞在時間を「4時間未満」と「4時間以上」の二区分で、日帰り観光客の一人当たりの観光消費額を調べると、訪問回数での大きな違いは見られないものの、滞在時間では4時間以上のほうが約2,500円ほど多く消費しています。



※ 前述の「(12)-1 一人当たりの観光消費額」と同様に、異常値を除外し、外れ値を除くため回答額の上位5%と下位5%(計10%)の回答を除いた中間項の平均値で算出しています。

(5) 満足度について

性別・年代の回答者において、満足度について「大変満足」と回答した割合を抽出して調べると、若い世代の割合が高い傾向にあり、男女とも20歳代以下で20%を超えています。

